

中野区子どもの権利擁護推進審議会会長 様

中野区長 酒 井 直 人

中野区子どもの権利擁護推進審議会への諮問について

中野区子どもの権利擁護推進審議会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問いたします。

記

1. 諮問事項

子どもの権利擁護に係る条例制定を見据えた、子どもの権利擁護の考え方、区・地域団体・事業者等の役割、相談支援の仕組み及び子どもの権利擁護を推進するために必要な方策等について

2. 諮問理由

「子どもの権利」については、1989年に国連が採択した「児童の権利に関する条約」において、すべての子どもが幸せに生きることができるよう「生きる権利」、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」が掲げられ、我が国においても1994年に批准しました。しかしながら、児童相談所における児童虐待相談対応件数が増加傾向にあるなど、子どもの権利が脅かされる深刻な状況が続いています。こうしたことから、国は、2016年の児童福祉法改正において、「子どもの権利」を位置づけるとともに、国民、保護者、国・地方公共団体が、それぞれ「子どもの権利」を支援していくことを明確化しました。

また、区においては、これまで子ども・子育て支援の取組などにより、子どものすこやかな成長を支援したところですが、児童虐待対応等の機能強化を図るため、2021年度に児童相談所を設置することとし、これに向けた取組を進めているところです。

区は、こうしたことを踏まえ、すべての人が「子どもの権利」を理解し、それぞれの生活・活動の中に「子どもの権利」の視点が取り入れられている状態を目指し、その指針となる条例の制定を進めていきたいと考えております。

つきましては、以上の趣旨を踏まえ、子どもの権利擁護に係る条例制定を見据えた、子どもの権利擁護の考え方、区・地域団体・事業者等の役割、相談支援の仕組み及び子どもの権利擁護を推進するために必要な方策等についてご審議をお願いするものです。